

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-251221

(43) 公開日 平成8年(1996)9月27日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 L 12/54		9466-5K	H 0 4 L 11/20	1 0 1 B
12/58		7368-5E	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G
G 0 6 F 13/00	3 5 1			

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平7-52157

(22) 出願日 平成7年(1995)3月13日

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号

(72) 発明者 北村 和夫

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(72) 発明者 秋本 高明

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(72) 発明者 樋口 恵太

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(74) 代理人 弁理士 志賀 富士弥

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 メッセージハンドリング方法

(57) 【要約】

【目的】 電子メール等の複数の送信相手に、1つのテキストファイルにより、共通のテキストメッセージに加え、自動的に送信先個々に特定のテキストメッセージを添付して送信できるメッセージハンドリング方法を提供する。

【構成】 メッセージ別に送信相手を第1及び第2グループに分ける。送信端末は、送信メッセージ5の共通のテキスト中に、第1及び第2グループの送信アドレスを挿入し、第2グループへの特定のテキストと記入場所3の第2グループの送信アドレスを、特定のキャラクタパターン「#emaildef」～「#eendif」間に挿入する。センタ装置は、受信テキスト中でそのキャラクタパターンを検出し第2のテキストとその送信アドレスを対応付け、送信アドレスに基づいて編集を行い、第2グループの端末へは共通及び特定のテキストを送信し、第1グループの端末へは共通のテキストのみを送信する。

1

To: AAA@JAPAN	2	
Cc: BBB@JAPAN, CCC@JAPAN, DDD@JAPAN, EEE@JAPAN, FFF@JAPAN	3	
Subject: 会議開催の連絡	4	
--text follows this line--		
マルチメディア研究会幹事のQQQです。		5
第1回マルチメディア研究会を下記要領で行います。		
Bcc: BBB@JAPAN, CCC@JAPAN, DDD@JAPAN		
BBB, CCC, DDDさん、		
研究会終了後、幹事会を行いますのでよろしくお願いいたします。		
Regards!		
場所: 本社会議室101号		
日時: 2月16日13:00~15:00		
都合の悪い方は、AAAまで連絡ください。		

- 1...本発明を含む電子メールシステム上での送信テキストファイル作成画面
2...送信相手のアドレスを記入する場所
3...送信相手のアドレスを記入する場所
4...電子メール見出しを記入する場所
5...送信メッセージ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数端末と、センタ装置と、前記複数端末と前記センタ装置を結ぶネットワークから構成されたメッセージハンドリングシステムにおいて、前記複数端末を 1 以上の端末からなる 2 以上の N グループに分け各グループ毎に異なったテキストを前記ネットワークを介して送信するメッセージハンドリング方法であって、メッセージを送信する端末は、送信テキスト作成時に、第 1 のテキストを送信するグループの送信アドレスを挿入する第 1 過程と、

前記第 1 の送信テキスト中に第 1 のキャラクタパターンから始まり第 2 のキャラクタパターンで終わる第 2 の送信テキストを 1 ないし複数挿入する第 2 過程と、

前記第 2 の送信テキスト中に該第 2 の送信テキストを送信するグループの送信アドレスを挿入する第 3 過程とを具備し、

センタ装置は、

前記メッセージを送信する端末から受信した送信テキストの中から前記第 1 及び第 2 のキャラクタパターンを検出し前記第 2 のテキストとそれを送信すべき送信アドレスを取り出す第 1 過程と、

前記取り出された第 2 のテキストの送信アドレスと前記第 1 のテキストの送信アドレスに基づいて前記グループ別に送信するテキストを編集する第 2 過程と、

前記グループ別に前記編集したテキストを送信する第 3 過程とを具備することを特徴とするメッセージハンドリング方法。

【請求項 2】 メッセージを送信する端末は、第 1、第 2、第 3 過程に加えて、

第 2 の送信テキスト中に第 3 のキャラクタパターンから始まり第 4 のキャラクタパターンで終わる第 3 の送信テキストを 1 ないし複数挿入するということに、ある送信テキスト中に別の送信テキストを重畳して挿入する第 4 過程と、

前記第 2 のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストを送信するグループの送信アドレスを挿入する第 5 過程とを具備し、

センタ装置は、

第 1 過程において、前記メッセージを送信する端末から受信した送信テキストの中から前記第 3 及び第 4 のキャラクタパターンを検出し前記第 3 のテキストとそれを送信すべき送信アドレスを取り出すということに、前記第 2 のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストとその送信アドレスを取り出す過程を有し、

第 2 過程において、第 1 及び第 2 のテキストの送信アドレスに加えて前記取り出された第 2 のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストの送信アドレスに基づいて前記グループ別に送信するテキストを編集することを特徴とする請求項 1 記載のメッセージハンドリング方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、電子メール等の通信方法に関し、詳しくは、一つの送信テキストファイルにより、複数の通信相手に個別のメッセージを添付して送ることができるメッセージハンドリング方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】例えば、メッセージハンドリングシステム（MHS）の代表例として電子メールシステムが広く普及している。電子メールシステムを利用して、複数の送信相手に共通のテキストメッセージを送信することは、1 つのテキストファイルを用意すれば、あとは送信先アドレス欄に、送信相手のアドレスを複数個指定すれば可能である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記従来の電子メールシステムでは、複数の送信相手に、共通のテキストメッセージに加え、送信相手個々に特定のテキストメッセージを添付して送信する場合には、送信相手の数だけ、個々のテキストファイルを作成し、テキストメッセージ毎に送信相手のアドレスを指定する必要がある。このため、前述のような場合の電子メール送信は非常に面倒であった。

【0004】本発明は、このような問題を解決するためになされたものであり、複数の送信相手に、例えば、共通のテキストメッセージに加え、送信相手個々に特定のテキストメッセージを添付する場合でも、1 つのテキストファイルにより、自動的に送信先個々に特定のテキストメッセージを添付したテキストメッセージを作成し、送信できるメッセージハンドリング方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、本発明の第 1 の発明では、複数端末と、センタ装置と、前記複数端末と前記センタ装置を結ぶネットワークから構成されたメッセージハンドリングシステムにおいて、前記複数端末を 1 以上の端末からなる 2 以上の N グループに分け各グループ毎に異なったテキストを前記ネットワークを介して送信するメッセージハンドリング方法であって、メッセージを送信する端末は、送信テキスト作成時に、第 1 のテキストを送信するグループの送信アドレスを挿入する第 1 過程と、前記第 1 の送信テキスト中に第 1 のキャラクタパターンから始まり第 2 のキャラクタパターンで終わる第 2 の送信テキストを 1 ないし複数挿入する第 2 過程と、前記第 2 の送信テキスト中に該第 2 の送信テキストを送信するグループの送信アドレスを挿入する第 3 過程とを具備し、センタ装置は、前記メッセージを送信する端末から受信した送信テキストの中から前記第 1 及び第 2 のキャラクタパターンを検出し前記第 2 のテキストとそれを送信すべき送信アドレスを

取り出す第 1 過程と、前記取り出された第 2 のテキストの送信アドレスと前記第 1 のテキストの送信アドレスに基づいて前記グループ別に送信するテキストを編集する第 2 過程と、前記グループ別に前記編集したテキストを送信する第 3 過程とを具備するメッセージハンドリング方法を手段とする。

【0006】また、本発明の第 2 の発明では、上記のメッセージハンドリング方法において、メッセージを送信する端末は、第 1、第 2、第 3 過程に加えて、第 2 の送信テキスト中に第 3 のキャラクタパターンから始まり第 4 のキャラクタパターンで終わる第 3 の送信テキストを 1 ないし複数挿入するというように、ある送信テキスト中に別の送信テキストを重畳して挿入する第 4 過程と、前記第 2 のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストを送信するグループの送信アドレスを挿入する第 5 過程とを具備し、センタ装置は、第 1 過程において、前記メッセージを送信する端末から受信した送信テキストの中から前記第 3 及び第 4 のキャラクタパターンを検出し前記第 3 のテキストとそれを送信すべき送信アドレスを取り出すというように、前記第 2 のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストとその送信アドレスを取り出す過程を有し、第 2 過程において、第 1 及び第 2 のテキストの送信アドレスに加えて前記取り出された第 2 のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストの送信アドレスに基づいて前記グループ別に送信するテキストを編集するメッセージハンドリング方法を手段とする。

【0007】

【作用】本発明のメッセージハンドリング方法では、送信端末において、送信するテキスト中に、送信相手のグループ毎に異なる第 2 の送信テキストをそのグループの送信アドレスとともに特定のキャラクタパターンの間に挟んで挿入し、さらには、第 2 の送信テキスト中に第 3 の送信テキストを同様に挿入するという具合に重畳して挿入し、センタ装置において、送信端末から受信したテキスト中で上記特定のキャラクタパターンを検出した場合には、検出したキャラクタパターン内の送信アドレスと第 1 のテキストの送信アドレスに基づいて、例えば、ある第 2 の送信テキストの送信アドレスの端末に対しては、その送信アドレスが挿入されている第 1 のテキストと当該第 2 のテキストを送信するというように、編集して送信することにより、複数の送信相手に、共通のテキストメッセージを加え、送信相手個々に特定のテキストメッセージを添付する場合でも、1 つのテキストファイルにより、自動的に送信先個々に特定のテキストメッセージを添付したテキストメッセージを作成し、送信することを可能にする。

【0008】

【実施例】以下、本発明の一実施例を、図面を参照して詳細に説明する。

【0009】本発明を実施するためのシステムの構成例

として、複数端末と、センタ装置と、前記の複数端末と前記のセンタ装置を結ぶネットワークから構成され、同時に複数の相手に対してテキストをネットワークを介して送信することができる電子メールシステムを例に説明する。

【0010】ここで、電子メールを送信する端末では、前記複数端末を 2 つのグループ（第 1、第 2 グループ）の端末群に分けて、第 1 グループの端末群には第 1 のテキストを、第 2 グループの端末群には第 1 の送信テキストに第 2 の送信テキストを挿入したものを、一つの送信テキストでセンタ装置に指示する場合を例とする。

【0011】このために、送信端末は、送信テキスト作成時に、第 1 の送信テキストを送信する第 1 及び第 2 グループの送信アドレスを挿入する処理手段と、第 1 の送信テキストの中に第 1 のキャラクタパターンから始まり第 2 のキャラクタパターンで終わる第 2 の送信テキストを挿入する処理手段と、第 2 の送信テキスト中に第 2 グループの端末群の送信アドレスを挿入する処理手段とを具備する。

【0012】一方、センタ装置では、送信端末から受信した送信テキスト中の特定のキャラクタパターン（上記第 1、第 2 のキャラクタパターン）を検出して、第 2 の送信テキストとその送信先の第 2 グループの送信アドレスを取り出す手段と、検出したキャラクタパターンにより第 2 の送信テキストとその送信先アドレスとを対応付ける手段と、第 1 及び第 2 の送信テキストと対応づけられた送信先アドレスに基づいてテキストファイルをグループ別に編集する手段と、編集したテキストファイルを各グループの端末に送信する手段とを具備する。テキストファイルを編集する手段は、送信テキストファイル中で前記の特定のキャラクタパターンを検出した場合、検出した特定のキャラクタパターンに対応する第 2 グループの送信アドレスのテキストファイルの編集時には、特定のキャラクタパターンだけを削除して、第 1 のテキストデータに第 2 のテキストデータが挿入されたテキストファイルを編集する。また、第 1 グループの送信アドレスのテキストファイル編集時には、第 1 のキャラクタパターン以降に続く第 2 のテキストデータを、第 2 のキャラクタパターンが検出されるまで削除して、第 1 のテキストデータのためのテキストファイルを編集する。

【0013】図 1 は、本発明のメッセージハンドリング方法を説明するための電子メールシステム上での送信テキストファイル作成例を示す図である。図 2 および図 3 は、受信電子メールテキスト例を示す図である。

【0014】図 1 において、1 は本発明を含む電子メールシステム上での送信テキストファイル作成画面である。ここでは、代表的な電子メールテキスト作成エディタである N E m a c s での本発明の利用例を示す。2 および 3 は、送信相手のアドレスを記入する場所であり、記入場所 2 には第 1 グループ及び第 2 グループの送信相

手のアドレスが、特定のキャラクタパターン「#emaildef」に続く記入場所3には第2グループの送信相手のアドレスが記入される。4は、電子メール見出しを記入する場所である。5は、送信メッセージの作成例である。

【0015】複数の送信相手AAA~FFFを、例えば第1グループ:AAA,EEE,FFFと第2グループ:BBB,CCC,DDDに分け、第2グループには共通のテキストメッセージ(第1のテキストメッセージ)に加えて特定のテキストメッセージ(第2のテキストメッセージ)を添付し、第1グループには共通のテキストメッセージだけを送信する場合、図1に示すように、送信テキストファイルを作成する際に、送信メッセージ5において、第1のテキストメッセージ中に、「#emaildef」(第1のキャラクタパターン例)に続いて、第2のテキストメッセージを、添付したい送信先アドレスを記入場所3で指定して、「#emaildef」~「#endif」(第2のキャラクタパターン例)の間に挿入する。

【0016】このとき、「#emaildef」に続いて、指定されたアドレス先(BBB,CCC,DDD)の電子メールシステムの端末では、図3に示すような、第1のテキストメッセージに第2のテキストメッセージが添付された電子メールテキスト(ただし、図3はBBBさんの受信例)が受信される。

【0017】図1の記入場所2で指定されたアドレス先のうち、「#emaildef」に続いて指定されているアドレス先以外のアドレス先の電子メールシステムの端末では、図2に示すような、第1のテキストメッセージのみの電子メールテキスト(ただし、図2はAAAさんの受信例)が受信される。

【0018】なお、本実施例では、2つのグループに対して、グループ毎に異なったメッセージを送信する場合について説明したが、3つ以上任意のグループに対しても同様の方法で2以上の第2のテキストメッセージを送信テキストファイルに挿入することにより、それぞれのグループ毎に異なったメッセージを送ることが可能である。この場合、あるグループのテキストファイルを編集する際に、当該グループの送信アドレスが指定されたテキストだけを残し、他は削除するように処理すれば良い。

【0019】さらに、メッセージを送信する端末では、第2の送信テキスト中に第3のキャラクタパターンから

始まり第4のキャラクタパターンで終わる第3の送信テキストを1ないし複数挿入し、さらには第3の送信テキスト中に第4の送信テキストを同様に挿入するというように、ある送信テキスト中に別の送信テキストを重畳して挿入し、その第2のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストに対応付けてその送信テキストを送信するグループの送信アドレスを挿入可能とする一方、センタ装置では、メッセージを送信する端末から受信した送信テキストの中から第3及び第4のキャラクタパターンを検出し第3のテキストとそれを送信すべき送信アドレスを取り出すというように、第2のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストとその送信アドレスを取り出し、第1及び第2のテキストの送信アドレスに加えて前記取り出された第2のテキスト以降に重畳して挿入された送信テキストの送信アドレスに基づいて前記グループ別に送信するテキストを編集して、各グループに送信するように拡張可能である。

【0020】

【発明の効果】本発明のメッセージハンドリング方法によれば、複数の送信相手に、共通のテキストメッセージに加え、送信相手個々に特定のテキストメッセージを添付する場合でも、1つのテキストファイルにより、自動的に送信先個々に特定のテキストメッセージを添付したテキストメッセージを作成し、送信することが可能となる。

【0021】また、送信テキスト中に別の送信テキストを重畳して挿入できるようにした場合には、特に、グループ毎に多種多様のメッセージを1つの送信テキストファイルで効率良く指示できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例を説明するための送信電子メールテキスト作成例を示す図である。

【図2】上記実施例による第2のテキストメッセージが添付された受信電子メールテキスト例を示す図である。

【図3】上記実施例による第1のテキストメッセージのみの受信電子メールテキスト例を示す図である。

【符号の説明】

- 1…本発明を含む電子メールシステム上での送信テキストファイル作成画面
- 2…送信相手のアドレスを記入する場所
- 3…送信相手のアドレスを記入する場所
- 4…電子メール見出しを記入する場所
- 5…送信メッセージ

【図1】

1

2 To: AAA@JAPAN

3 Cc: BBB@JAPAN, CCC@JAPAN, DDD@JAPAN, EEE@JAPAN, FFF@JAPAN

4 Subject: 会議開催の連絡

—text follows this line—

5 マルチメディア研究会幹事のQQQです。

第1回マルチメディア研究会を下記要領で行います。

From: BBB@JAPAN, CCC@JAPAN, DDD@JAPAN

BBB、CCC、DDDさん

研究会終了後、幹事会を行いますのでよろしくお願いします。

Re: 〇〇〇

場所: 本社会議室101号

日時: 2月16日13:00~15:00

都合の悪い方は、AAAまで連絡ください。

- 1…本発明を含む電子メールシステム上での送信テキストファイル作成画面
- 2…送信相手のアドレスを記入する場所
- 3…送信相手のアドレスを記入する場所
- 4…電子メール見出しを記入する場所
- 5…送信メッセージ

【図3】

From: QQQ@JAPAN

Cc: CCC@JAPAN, DDD@JAPAN

Subject: 会議開催の連絡

—text follows this line—

マルチメディア研究会幹事のQQQです。

第1回マルチメディア研究会を下記要領で行います。

BBB、CCC、DDDさん

研究会終了後、幹事会を行いますのでよろしくお願いします。

場所: 本社会議室101号

日時: 2月16日13:00~15:00

都合の悪い方は、AAAまで連絡ください。

【図2】

From: QQQ@JAPAN

Cc: BBB@JAPAN, CCC@JAPAN, DDD@JAPAN, EEE@JAPAN, FFF@JAPAN

Subject: 会議開催の連絡

—text follows this line—

マルチメディア研究会幹事のQQQです。

第1回マルチメディア研究会を下記要領で行います。

場所: 本社会議室101号

日時: 2月16日13:00~15:00

都合の悪い方は、AAAまで連絡ください。

フロントページの続き

(72) 発明者 梶原 俊男
東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 6 号 日
本電信電話株式会社内

(72) 発明者 中野 慎夫
東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 6 号 日
本電信電話株式会社内